

光学医療診療部
Department of Endoscopy

A 欧 文**A-a**

1. M.Itsuno,K.Makiyama,H.Tsuruta,Y.Yano,Y.Mizuta,S.Kouno,K.Inoue,M.Haraguchi, H.Tanioka,K.Imamura: Changes in Colonoscopic Findings in Long-standing Ulcerative Colitis,Dig.Endosc.,8,106-111 (1996)
2. F.Takeshima,H.Oda,J.Miyazaki,H.Tokunaga,M.Itsuno,K.Murase,K.Makiyama,K.Hara: Granular Cell Tumor of the Cecum: Two Case Reports,Dig.Endosc.,8,151-155 (1996)
3. M.Iwamoto,T.Koji,K.Makiyama,N.Kobayashi,P.K.Nakane: Apoptosis of Crypt epithelial cells in ulcerative colitis,J.of Pathol.,180,152-159 (1996)
4. S.Shikuwa,M.Senju,M.Haraguti,K.Murase,K.Omagari,Y.Mizuta,K.Makiyama, S.Kohno,M.Ito,I.Sekine: Long-Acting Nicardipine for Elderly Hypertensive Patients: Effect on Diurnal Variation of Blood Pressure,Dig. Endosc.,8,315-320 (1996)
5. W.L.Z.Iriarte,I.Sekine,M.Itsuno,K.Makiyama,S.Naito,T.Nakayama,T.Hattori: Carcinoma in Gastric Hyperplastic Polyps A Phenotypic Study,Dig.Dis.and Sciences.41,377-386 (1996)
6. W.L.Z.Iriarte,K.Makiyama,S.Goto,K.Murase,I.Sekine,K.Hara,T.Kondo: Impairment of antioxidants in colonic epithelial cells isolated from trinitrobenzen sulphonic acid-induced colitis rats,Scand J Gastroenterol.,31,985-992 (1996)
7. K.Makiyama,K.Ishida,W.L.Z.Iriarte,M.Itsuno,M.Yamakawa,N.Mori: Case report: Hippocratic digital and Crohn's disease,J Gastroenterol Hepatol.,11,692-695 (1996)
8. S.Shikuwa,M.Senju,M.Haraguchi,M.Itsuno,K.Iwasaki,K.Murase,K.Omagari,Y.Mizuta,K.Makiyama,S.Kohno, M.Ito,I.Sekine: A case report of Crohn's disease confined to the appendix,Dig Endosc.,8,315-320 (1996)

B 邦 文**B-a**

1. 南野 淳、小松浩平、児島正純、梶山浩文、野元健行、松尾 功、生野信弘、大曲勝久、水田陽平、牧山和也、河野 茂、Prostaglandin E1療法を契機に改善を見た重症肝炎の1症例、臨床と研究、73、7、181-184 (1996)
2. 岩本美智子、水田陽平、野元健行、中村 貴、佐藤尚一、西田義之、磯本 一、池田幸紀、矢野良嗣、大曲勝久、竹島史直、牧山和也、高原 浩、河野 茂、大腸脈瘤を併発し、食道潰瘍と大腸に多発潰瘍および縦走潰瘍を認めた腸型パーチェット病の1例、長崎医学会誌、71、4、397-401 (1996)
3. 千住雅博、梅根良彦、松田源治、石川 啓、岩崎啓介、竹島史直、牧山和也、水田陽平、河野 茂、小腸X線検査で術前に診断しえた成人例出血性 Meckel 憩室の1例、長崎医学会誌、71、4、392-396
4. 鶴田英夫、川尻 洋、西山高志、木下秀樹、松尾 功、生野信弘、大曲勝久、水田陽平、河野 茂、牧山和也、宿輪三郎、関根一郎、右心房内に腫瘍由来のムチン陽性粘液塞栓を認めた肝細胞癌の1例、長崎医学会誌、71、4、381-384 (1996)
5. 福田康弘、額川一英、石崎 颯、木下秀樹、松尾 功、生野信弘、大曲勝久、水田陽平、竹島史直、牧山和也、河野 茂、当院における肝細胞癌症例の検討、長崎医学会誌、71、4、385-391 (1996)
6. 牧山和也、嶋田定嘉、原口増穂、千住雅博、原 耕平、慢性胃炎に伴う消化器症状に対するDQ2511(エカバピド)細粒剤の臨床的有用性、薬理と治療、24、7、1059-1065 (1996)
7. 宿輪三郎、千住雅博、神谷直昭、原口増穂、谷岡 一、村瀬邦彦、小松浩平、大曲勝久、牧山和也、河野 茂、伊東正博、関根一郎、抗セントロメア抗体陽性を呈したび漫型強皮症と症候性原発性胆汁性肝硬変症の重複症例の1例一本邦報告例の集計を加えて、日消誌、93、11、845-850 (1996)
8. 神之浦潔、大曲勝久、額川一英、城野健児、松尾 功、生野信弘、梅根良彦、牧山和也、原 耕平、肝内門脈瘤を介した門脈肝静脈短絡が後天性に形成されたと考えられる1例、日消誌、93、2、126-130 (1996)
9. 宿輪三郎、千住雅博、伊津野稔、原口増穂、水田陽平、村瀬邦彦、牧山和也、伊東正博、関根一郎、内視鏡的ならびにX線学的に経過を観察しえたYersinia Enterocolitica腸炎の1例、Gastroenterol Endosc、38、3、898-902 (1996)
10. 佐藤尚一、谷岡 一、永田 広、伊津野稔、原口増穂、浅井貞宏、岩崎啓介、木下秀樹、松尾 功、生野信弘、大曲勝久、牧山和也、河野 茂、脳転移を来した非B非C型若年者肝細胞癌の1例、日消誌、93、10、758-762 (1996)
11. 木下秀樹、生野信弘、松尾 功、城野健児、梶山浩史、大曲勝久、牧山和也、河野 茂、中村継人、川野弘茂、肝硬変症に合併した混合型肝癌の2剖検例、日消誌、42、10、1147-1152 (1996)

B-b

1. 牧山和也、野本健行、水田陽平、巨大結腸症の診断と治療、総合臨床、45、5、1003-1004 (1996)
2. 野元健行、牧山和也、炎症性腸疾患治療薬-サラゾピリン、medicina、33、12、138-139 (1996)
3. 岩本美智子、牧山和也、小路武彦、河野 茂、中根一穂、潰瘍性大腸炎における陰窩上皮のアポトーシス-Fas/Fas-L 発現一、日本臨床、54、7、244-248 (1996)
4. 水田陽平、牧山和也、頑固な便秘の治療、日本医事新報、No3792、87-88 (1996)
5. 水田陽平、牧山和也、野本健行、腸結核、総合臨床、45、6、1549-1552 (1996)
6. 水田陽平、牧山和也、久保啓吾、瘻の奇形、日本臨床 領域別症候群シリーズ No10、26-28 (1996)
7. 水田陽平、牧山和也、久保啓吾、瘻(管)癒合不全、瘻管非癒合日本臨床 領域別症候群シリーズ No10、20-22(1996)
8. 岩本美智子、牧山和也、小路武彦、河野 茂、中根一穂、潰瘍性大腸炎におけるアポトーシス、組織培養、22、11、456-459 (1996)
9. 岩本美智子、牧山和也、小路武彦、中根一穂、アポトーシスと潰瘍性大腸炎、Research Forum on Digestive Disease、3、1、73-77 (1996)
10. 牧山和也、岩本美智子、野元健行、潰瘍性大腸炎の治療戦略、medicia、33、8、1546-1549 (1996)
11. 牧山和也、竹島史直、岩本美智子、免疫療法の臨床研究の現状、クリニカ、23、5、389-393 (1996)
12. 中牟田浩治、牧山和也、河野 茂、リンパ球ホーミング molecule について、Progress in Medicine、16 (10)、2465-2466 (1996)
13. 生野信弘、牧山和也、吉田 登、大曲勝久、肝・胆道系症候群 胆嚢平滑筋肉腫、別冊日本臨床、9、335-337(1996)
14. 牧山和也、アメーバー性大腸炎、消化器病セミナー、17、4-7 (1996)
15. 牧山和也、炎症性腸疾患における顆粒球の活性化と組織障害性、医学のあゆみ、178、9、567-570 (1996)

B-c

1. 牧山和也：下痢。監修：阿部正和 今日の治療指針1996版。東京：医学書院、429-430 (1996)
2. 牧山和也、鶴田英夫：蠕動不安、筋性防御、腹部膨満。編集：川上義和、丸茂文昭、朝倉 均、田代邦雄、溝口秀昭 チャートで学ぶ病態生理学 東京：中外医学社、162-167 (1996)
3. 牧山和也：腸結核。編集：高橋隆一 180専門家による私の処方。東京：日本医事新報社、256-257 (1996)
4. 牧山和也：潰瘍性大腸炎。監修：竹本忠良、編著：岩崎有良、荒川泰行、豊永 純、牧山和也、沖田 極 下部消化管疾患症例からみた診断と治療指針 東京：杏林書院、17-22 (1996)
5. 牧山和也：クローン病。監修：竹本忠良、編著：岩崎有良、荒川泰行、豊永 純、牧山和也、沖田 極 下部消化管疾患症例からみた診断と治療指針 東京：杏林書院、23-29 (1996)
6. 牧山和也、村瀬邦彦：腸結核。監修：竹本忠良、編著：岩崎有良、荒川泰行、豊永 純、牧山和也、沖田 極 下部消化管疾患症例からみた診断と治療指針 東京：杏林書院、30-34 (1996)
7. 牧山和也、中牟田浩治、岩本美智子、中根一穂、小路武彦：消化管と免疫 監修：竹本忠良、編著：岩崎有良、荒川泰行、豊永 純、牧山和也、沖田 極 消化管疾患-新しい診断法と治療。東京：杏林書院、19-22 (1996)
8. 牧山和也：炎症性腸疾患の治療 監修：竹本忠良、編著：岩崎有良、荒川泰行、豊永 純、牧山和也、沖田 極 消化管疾患-新しい診断法と治療 東京：杏林書院、125-131 (1996)
9. 牧山和也、伊津野稔、福田博英：抗生物質起因性大腸炎(偽膜性大腸炎、出血性大腸炎) 編修：菅野健太郎、日比紀文、星原芳雄 消化器病(胃・腸・食道)、分子メカニズムから病態・診断・治療まで 東京：羊土社、142-143(1996)
10. 牧山和也、井上健一郎、嶋田定嘉、原口増穂、今村和之、南野 淳：消化管早期癌 大腸。監修：松尾 裕、編修：寺野 彰、浅木 茂、浅香正博、荒川哲男、三澤 正、小原勝敏 消化器研究の新たな進歩。東京：バアンメディカル、61-66 (1996)
11. 牧山和也：クローン病 編修：本間光夫、上田慶二、伊賀立二 薬の正しい使い方。東京：医学書院、190 (1996)

B-d

1. 樋口芳樹、洲之内廣紀、武藤徹一郎、宇都宮讓二、馬場正三、畠山勝義、中野博重、小西文雄、亀岡信悟、下山孝、牧山和也、千葉満郎、棟方昭博、小林絢三、馬場忠雄、齊藤利彦：潰瘍性大腸炎の腸管外合併症に対する外科治療の効果。厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成7年度研究報告書、64-65 (1996)
2. 牧山和也、水田陽平、福田康弘：潰瘍性大腸炎とECP-慢性的炎症との関連性-。厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成7年度研究報告書、84-85 (1996)
3. 岩本美智子、牧山和也、中根一穂：潰瘍性大腸炎粘膜陰窩上皮におけるCEA/Fas/Fas-L/TdT 陽性細胞の発現。厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成7年度研究報告書、205-206 (1996)

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1996	8	0	0	0	8	4	11	15	11	3	40	48

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1996	0	0	6	6	0	3	21	24	30

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1996	0.167	4	0.5	2

Impact factor 一覧

	Impact factor	1 教官当り Impact factor	論文当り Impact factor
1996	8.804	4.402	2.201